

第32回木曾音楽祭



©宇治紀六

8
24
25
26
27

小さな町の素敵な音楽祭 - 2006 -

8月24日(木)7時 前夜祭コンサート 福島中学校体育館
名曲コンサート

8月25日(金)7時 フェスティバルコンサートⅠ 木曾文化公園文化ホール
モーツァルト●協奏交響曲 変ホ長調 K.297b(木管九重奏版)
フォーレ●ピアノ四重奏曲 第1番 ハ短調 作品15
ショーソン●ヴァイオリン、ピアノと弦楽四重奏のためのコンセール ニ長調 作品21

8月26日(土)7時 フェスティバルコンサートⅡ 木曾文化公園文化ホール
モーツァルト●コンチェルト(原曲:ピアノと管楽器のための五重奏曲 変ホ長調 K452)
シューマン●弦楽四重奏曲 第3番 イ長調 作品41-3
ニーノ・ロータ●フルート、ヴァイオリン、ピアノのための三重奏曲
シヨスタコーヴィチ●ピアノ五重奏曲ト短調 作品57

8月27日(日)3時 フェスティバルコンサートⅢ 木曾文化公園文化ホール
ライネッケ●八重奏曲 作品216
バルギーレ●弦楽八重奏曲 ハ短調 作品15a
クルークハート●ピアノ三重奏曲 変ロ長調 作品47
モーツァルト●ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K488

*曲目・出演者が変更になる場合がございます あらかじめご了承ください。未就学児の入場はお断り致します。

入場料
前夜祭コンサート(自由席) 大人 ¥1,000 小・中学生 無 料
フェスティバルコンサート(全指定) 大人 ¥4,000 小・中学生 ¥2,000
フェスティバルコンサート通し券 指定 ¥11,000 (前夜祭コンサートチケット付き)

*通し券は木曾音楽祭事務局のみ取り扱い(限定120席)

主催 = 木曾音楽祭実行委員会・木曾町・木曾文化公園
共催 = 信濃毎日新聞社・財団法人 信毎文化事業財団
企画制作 = 東京アーティスト

■チケット予約・お問い合わせ

木曾音楽祭事務局 0264(21)1222
<http://www.town-kiso.com/music/>
東京アーティスト 03(3440)7571

■プレイガイド

チケットぴあ 0570(02)9990
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>
木曾文化公園 0264(23)8011

Violin	漆原啓子 加藤知子 川田知子 久保陽子 井上静香
Viola	市坪俊彦 菅沼準二 鈴木康浩
Violoncello	花崎 薫 山崎伸子 門脇大樹
Contrabass	星 秀樹
Flute	佐久間由美子
Oboe	古部賢一 森枝繭子
Clarinet	山本正治 金子 平
Fagott	岡本正之 吉田 将
Horn	松崎 裕 山本 真
Piano	寺嶋陸也 若林 顕
Director	山本正治 (50音順)

人々の心にささやく町

木曾駒ヶ岳の土手っ腹に穴があいた。国道361号の高規格道路。伊那と木曾をつなぐこの国道は、その昔、「酷道」どころか獣道で、人が歩くのがやっとの峠の道だった。

権兵衛峠といわれたこの道は、日義の古畑権兵衛によって開削され、伊那と木曾は道でつながった。木曾では、元禄9年(1696年)完成といわれてきたが、これは推測ではっきりした記述はない。一方、伊那では12年完成との記録が残っていることから、今度のトンネル竣工式では12年説が使われた。いずれにしても300余年の昔の話である。

近くて遠い国だった木曾と伊那は、ぐーんと近くなり、開通した2月4日以降、木曾福島はじめ木曾谷に伊那の観光客があふれた。木曾の家庭には、伊那の新聞折込広告が連日入り、その攻勢はすごい。

開通後1ヶ月ほどして「伊那・木曾連絡道路シンポジウム」が伊那市で開かれた。この日、パネラーのひとり、青年会議所理事長が語った。

「木曾がうらやましい。『信濃の国』の歌ひとつとっても、木曾が一番から六番まで全部出てくるのに、伊那の登場は一番だけ。」

木曾には資源があふれていると悔しがった。考えてみると駒ヶ岳も半分は伊那だというのに、なぜか「木曾駒ヶ岳」と名づけられている。御嶽も半分は岐阜、しかし木曾御嶽

と人はいふ。要するに「木曾」の方が、名が知られていたということだろうか。

確かに木曾は資源があふれている。

5月の連休にもそれは目立った。昼神温泉から南木曾へ入り、木曾を北上。赤沢・御嶽・開田高原を経て、まさに権兵衛峠への回廊だった。加えて、そこには自然を求めて全国から来た人々があふれていた。

「木曾に来て、メシも喰えない。」

何度も聞かされた。どこに行っても1時間待ちだというのだった。天気にも恵まれたのも人が多かった要因だろう。

木曾町は昨年11月1日発足した。4町村の合併で生まれた新しい町、高崎藤村の「夜明け前」で知られた山岳地帯の中心の町である。面積の広さでは、町村では県下の476平方キロとなった。木曾川の本流と支流に沿って点々と集落をつくり、集まって町や村を形成した。新しい町は、古い歴史文化と雄大で豊かな自然に恵まれ、そして何よりも、素朴でやさしい人情あふれる穏やかな人々の住む町である。木曾町には、新しい時代に合った都市の人々を誘う魅力がある、と私は確信している。

木曾音楽祭実行委員会会長

木曾町長

田中勝己

8月24日(木) 7時 前夜祭コンサート

名曲コンサート

8月25日(金) 7時 フェスティバルコンサート I

モーツァルト●協奏交響曲 変ホ長調 K.297b(木管九重奏版)
 <古部 森枝 山本正 金子 吉田 岡本 松崎 山本眞 星>
 フォーレ●ピアノ四重奏曲 第1番ハ短調 作品15 <加藤 菅沼 山崎 若林>
 ショーソン●ヴァイオリン、ピアノと弦楽四重奏のためのコンセル ニ長調 作品21
 <久保 寺嶋 川田 井上 市坪 門脇>

8月26日(土) 7時 フェスティバルコンサート II

モーツァルト●コンチェルト(原曲:ピアノと管楽器のための五重奏曲 変ホ長調 K.452)
 <漆原 鈴木 門脇 星 古部 山本正 岡本 松崎>
 シューマン●弦楽四重奏曲 第3番イ長調 作品41-3 <漆原 井上 市坪 花崎>
 ニーノ・ロータ●フルート、ヴァイオリン、ピアノのための三重奏曲
 <佐久間 川田 寺嶋>
 ショスタコーヴィチ●ピアノ五重奏曲ト短調 作品57<加藤 井上 鈴木 山崎 若林>

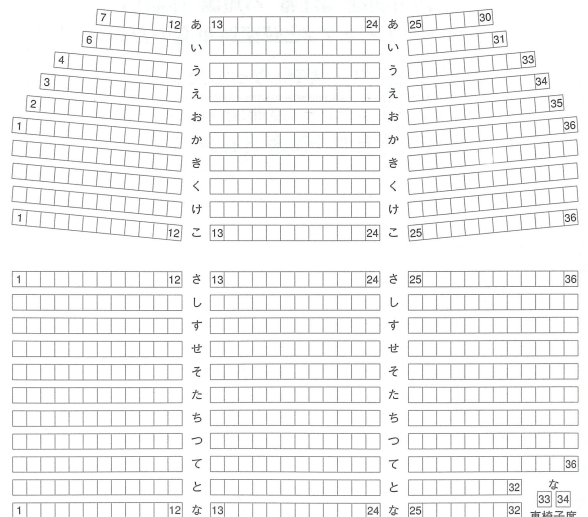
8月27日(日) 3時 フェスティバルコンサート III

ライネッケ●八重奏曲 作品216
 <佐久間 森枝 山本正 金子 岡本 吉田 松崎 山本眞>
 バルギー●弦楽八重奏曲 ハ短調 作品15a
 <漆原 久保 加藤 井上 菅沼 鈴木 山崎 門脇>
 クルクハート●ピアノ三重奏曲 変ロ長調 作品47 <古部 鈴木 寺嶋>
 モーツァルト●ピアノ協奏曲 第23番イ長調 K488
 <若林 川田 市坪 花崎 星 佐久間 山本正 金子 吉田 岡本 松崎 山本眞>

チケット先行予約

6月11日(日) 午前10時~午後5時
 木曾音楽祭事務局 Tel.0264(21)1222
 (6月13日からは 平日 午前8:30~午後5:30)

木曾文化公園文化ホール
 舞台



交通のご案内



直通高速バスで
 4時間10分

木曾福島行き		新宿行き	
新宿駅西口 発	木曾福島駅前 着	木曾福島駅前 発	新宿駅西口 着
8:20	12:30	7:40	11:50
17:20	21:30	15:30	19:40

片道運賃=新宿~木曾福島 4,500円(往復券10%引・回数券4枚12.5%引)
 お問い合わせ・ご予約=京王高速バス予約センター Tel.03(5376)2222
 おんたけ交通高速バス予約センター Tel.0264(22)4555
 インターネット=<http://www.highwaybus.com> iモード=<http://www.highwaybus.com/i>



■新宿から木曾福島
 中央本線 あずさ、塩尻しなの、中央本線...約3時間20分
 新幹線 長野しなの、中央本線...約3時間20分

■名古屋から木曾福島
 中央本線.....1時間18分



■東京(高井戸IC)から木曾福島
 中央自動車道 塩尻IC→R19...約3時間45分
 中央自動車道 伊那IC→R361→R19...約3時間30分

■名古屋から木曾福島
 中央自動車道 中津川IC→R19...約2時間10分
 中央自動車道 伊那IC→R361→R19...約2時間20分

ぶらり歩こう! 水の郷 木曾福島



木曾川親水空間

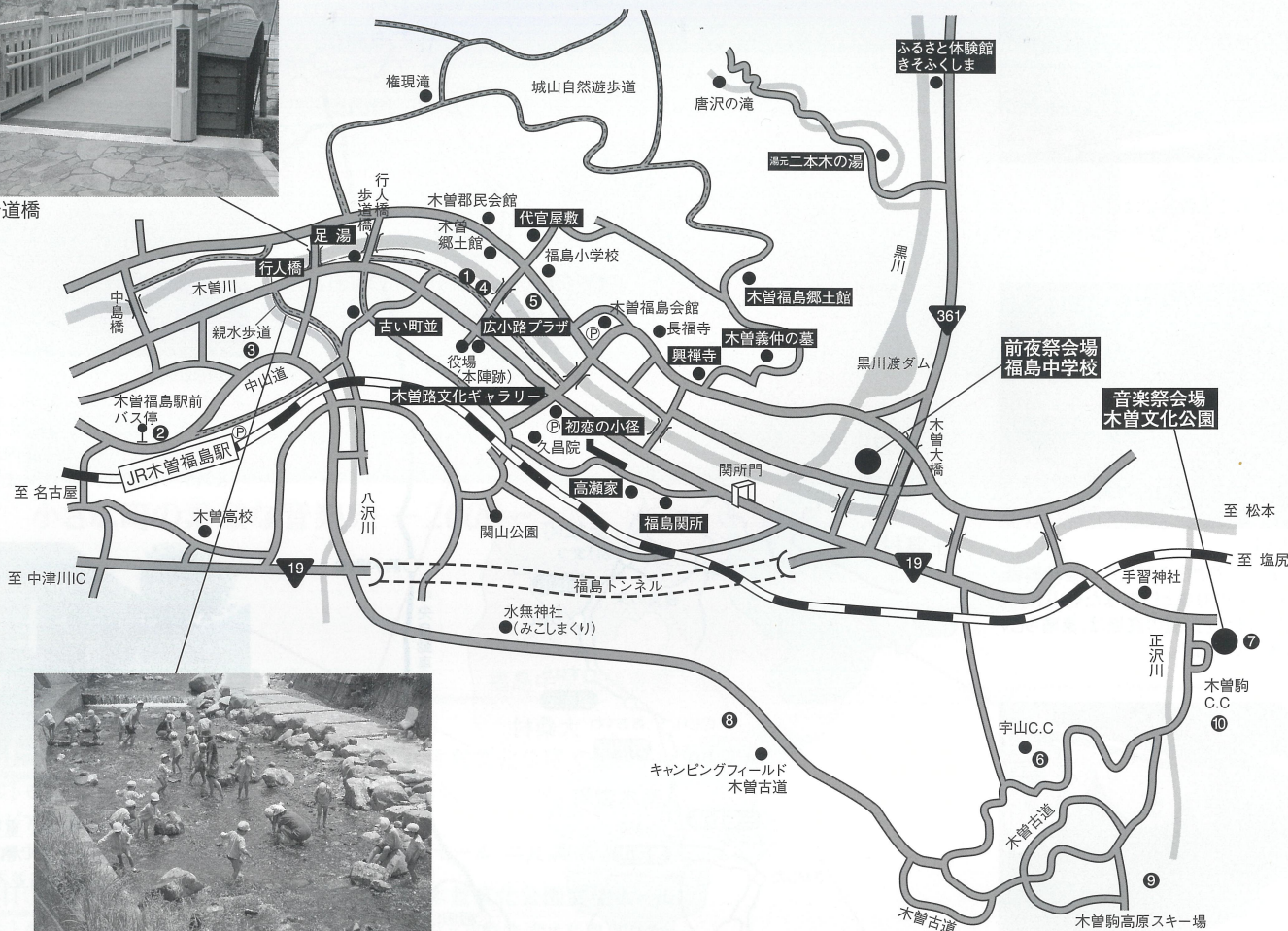


行人橋歩道橋

平成8年に“水の郷百選”に選ばれた「木曾福島」

その木曾福島に新しい観光名所ができました。その名も「行人橋歩道橋」。古くから御岳信仰の登山基地として賑わった木曾福島ですが、その御岳登山道の基点にあたるのがこの橋です。行人橋を渡ると御嶽山の霊界に入るといわれ、多くの行者がここを通りました。そんな歴史のある行人橋が、橋の欄干からのんびりとせせらぎを感じたいという住民の願いのもと、平成17年に歩道橋として元々の位置に完成しました。近くにある足湯親水公園とともに親しまれています。

夏の木曾川を、せせらぎを聞きながらぜひお楽しみください。



八沢川親水空間

●木曾音楽祭へは臨時バスをご利用ください。(大人400円 小人200円)

	木曾福島駅発	木曾文化公園着	木曾文化公園発	木曾福島駅着
8月25日(金) 19:00	18:00	18:30	21:00	21:30
8月26日(土) 19:00	18:00	18:30	21:00	21:30
8月27日(日) 15:00	14:00	14:30	17:00	17:30

*木曾福島駅行きバスの発車時刻は、終演時間によって前後致します。
*臨時バスは、上記①～⑤の宿泊施設近くのバス停にも停まります。

木曾音楽祭協賛宿泊施設のご案内

木曾福島	①	木曾路の宿 いわや	0264(22)2015
	②	木曾路の宿 つたや	0264(22)2145
	③	武居旅館	0264(22)2068
	④	つたやグランドホテル	0264(22)2010
	⑤	三河家旅館	0264(22)2030
木曾駒	⑥	木曾駒高原ホテル	0264(23)7221
	⑦	駒 王	0264(23)7201
	⑧	駒 の 湯	0264(23)2288
	⑨	ペンションアルパイン	0264(23)8001
	⑩	森 の ホ テ ル	0264(23)7331
開田		つたや季の宿 風里(かざり)	0264(42)1188
三岳		木 曾 温 泉	0264(46)2700
松		ね ざ め ホ テ ル	0264(52)2245

その他の宿泊情報は、木曾町観光協会へお問い合わせください。
Tel. 0264(22)4000 Fax.0264(24)3500

フェスティバルコンサート会場で軽食を販売

8月25日(金)～27日(日) 開場1時間前から販売

地元の郷土料理愛好家「四季の会」が、木曾の名物料理(五平餅・山菜おこわ・米粉まんじゅう・朴葉寿司・飲み物)などを販売します。

夏の木曾路をめぐる

地元ガイド同行の
オプションツアー

8月26日(土) 運行

御岳山と赤沢観光コース

開田霧科そば工場→御岳ロープウェイ(昼食)
→百草丸工場→赤沢自然休養林(森林鉄道)
最少催行人員20名 代金10,000円

木曾町散策コース

徳音寺→義仲館→関町駐車場(福島)・関所・
高瀬家→初恋の小径→木曾路文化ギャラリー・
くるまや(昼食蕎麦)・足湯・山村代官屋敷→
興禅寺 最少催行人員20名 代金8,000円
※関所から代官屋敷は徒歩にてご案内します。

●観光オプションツアーの
お問合せ・お申込みは…

おんたけ交通(株)
松本旅行センター
Tel.0263(25)9500

新しい旅の始まり 木曾町と伊那路

伊那路がぐう〜んと近くなりました。

今まで近そうで遠かった伊那谷。その伊那谷との連絡道「権兵衛トンネル」が平成18年2月に開通しました。伊那路までわずか30分のアクセス、とっても近くなりました。合併して新しくなった木曾町と伊那路。音楽祭の合間にぜひ足を運んでみてください。



開田高原
山々に埋もれる木曾谷では珍しく、広大な高原です。忘れな草・木曾馬・そばの産地です。



木曾御嶽
標高3,067m。悠然とそびえ立つ霊峰御嶽。古くから信仰の対象として、また登山客にも人気があります。山麓の高原は、素晴らしい自然体験でいっぱい。



福島関所跡
日本四大関所の1つで創設以来約270年間、中山道の要衝として入鉄砲、出女等を取り締まった地。



寝覚の床／上松町
奇岩奇石の間をぬってエメラルドグリーンの深淵が、神秘的な輝きはなっています。遊歩道内には、時をテーマとした美術公園もあります。



義仲館
木曾義仲公に関する古文書・絵巻・上洛地図ほか、巴御前などの武者人形も展示されています。



木曾駒高原
木曾駒ヶ岳の北山麓に広がる爽やかな高原。御嶽・木曾駒ヶ岳の眺望が良い避暑地として知られ、豊かな森林内にはレジャー&スポーツ施設が整っています。



妻籠宿／南木曾町
中山道木曾11宿のひとつ。重要伝統的建造物群保存地区に選定されたほど、集落保存がよく、往時を想わせる街並みです。



権兵衛トンネル

権兵衛トンネル

構想から25年、工事着手から15年、幾多の難工事を経た権兵衛トンネル。このトンネルの開通により、今まで塩尻を経由して2時間もかかっていた木曾ー伊那間が30分で結ばれるとともに首都圏からのアクセスも一段と向上しました。権兵衛トンネルは、古畑権兵衛という人の名から付けられています。その昔、木曾に住み引き馬で生計を立てていた古畑権兵衛は、伊那から木曾へ米を最短で運ぶことを考え、難工事の末、中馬が通れる通商路を作りました。以来、この道は「権兵衛峠」または「権兵衛街道」と呼ばれるようになり、伊那からは米や干し柿、木曾からは漆器や曲げ物などが交わされていました。

■ 木曾路観光のお問い合わせは
木曾観光連盟 Tel.0264 (23) 1122
<http://www.kisoji.com/>
木曾町観光協会 Tel.0264 (22) 4000

※木曾福島町は平成17年11月に近隣の日義村、開田村、三岳村と合併しました。